講義名 中国語リスニング(GSP生用) 授業形態 授業形態	その他 適宜、授業中に資料を配布し、課題の提出についてはキャンパスクロスで対応する。
開議期・曜日・時限 後期 火曜日 2 時限	ME. DESTRUCTION OF MEDICAL CAPTY OF THE TRANSPORT OF THE
担当教員   藺 梅	
単位数     2     履修開始年次     2年生     ナンパリング・コ ード     CHI223	
主題と概要	
上の一角はA中国語A/8(グローバル)を履修済みのGSP生を対象とします。	授業計画
この科目の内容は、中国語の「読む、書く、聞く、話す」の中の「聞く、話す」に重点を置いて、中国語のリスニングの力を伸ばしていくことをメインとします。	1. HSK4級 リスニング (相文) 予習内容: 4級レベルの単調 を自習すること、課題を予習し、例文をすべて音読すること (100分) 復習内容: 半貼 の発音、原味、書き方を復習すること、課題のリスニングをトレーニングすること (140分)
この授業では、中国語の発音を確認しながら、短文の音読トレーニングを行い、長文については、ディクテーション形式でリスニングのトレーニングをし、その内容を聞き、理解できるようにします。	復国内容:維菌 の発音、意味、書き方を復譲すること、課題のリスニングをドレーニングすること (140分) ・1544版 スニング(地区)
この講義を受講することにより、中級中国語以上の会話や長文を聞き、おおよその内容を理解することができるようになり、目標としては、HSM(中国語レベル測定試験)3級レベル以上のリスニング力を身につけることです。	** 15/54級・リスニング(特定) ** 17/54と ** 1
	■ 予習内容:4級レベルの単語 を自習すること、課題を予習し、例文をすべて音読すること (100分)
	4.18X4級 リスニング(短文) 子宮内容: 統則/ベルの単語。 在自習すること、課題を予醒し、例文をすべて音読すること (100分)
	復留内容: 無益 の対態、 懸漢、 悪音力を復譲すること、課題のリスニングをトレーニングすること (1400ケ) 5. 野文のリスニング (1400年)
	復国内容: 単語 の共音、原味、書き方を復習すること、課題のリスニングをトレーニングすること (140分) 4、1574級 リスニング(担欠)  ・ 予留内容: 4歳レベルの単語 を自習すること、課題を予習し、例文をすべて音読すること (100分) (福岡内容: 単語 の寿音、原味、書き方を復習すること、課題のリスニングをトレーニングすること (140分) 5.相文のリスニング - 復習・テスト ・ 予留内容: 4歳レベルの単語 ・ を目留すること、課題を予習し、例文をすべて音読・聞くすること (100分) (福国内容: 単語) ・ の寿音、意味、書き方を復習すること、課題のリスニングをトレーニングすること (140分) ・ 「神内容・はルベルの経典・を自習すること、課題を予習、例文をすべて音読すること (100分) ・ 「神内容・はルベルの経典・を自習すること、課題を予習、例文をすべて音読すること (100分) ・ 「福国内容: 単語の発音・意味、書き方を復習すること、課題のリスニングをトレーニングすること (140分)
別達目標	予部内容: 4級レベルの単語 を自留すること、課題を予習し、例文をすべて音談すること (100分) (種国内容: 単語の発意、意味、書き方を復習すること、課題のリスニングをトレーニングすること (140分)
この調義の對連目標は中国語検定試験3級・HSK 4 級レベルです。	- 1. RX4級 - リスニング 会話 - リスニング をトレーニングすること (100分) (複合内容 - 単語の発意 - 意味、書き方を復言すること、課題のリスニングをトレーニングすること (140分)
具体的には以下の通りです。 職事工会話の最初でするというでは、これでは、10mmのグレットです。 最大のディクテーションを完成させ、その内容を理解し、更にその内容についての4択問題を解答できるようになる。 長文の自然ができるようになる。	8.KSK4級 リスニング(会話) 予智内容: 4級レベルの単語 を自習すること、護顕を予習し、例文をすべて音読すること (100分)
長文の音読ができるようになる。	(福岡内容:
	予器内容:4級レベルの単語 を自認すること、課題を予書し、例文をすべて音読すること (100分) (複別内容・単語の発信・悪・着き力を復譲すること、課題のソスニングをトレーニングすること (140分)
	福田(344) - 1480-2557 (会話   1872) (会話
	↑ ↑ ↑ ↑ ↑ ↑ ↑ ↑ ↑ ↑ ↑ ↑ ↑ ↑ ↑ ↑ ↑ ↑ ↑
	復習内容:単語 の発音、意味、書き方を復習すること、課題のリスニングをトレーニングすること (140分) 12.PS(446 リスニング(会話) インスング(会話) インスング(会話) (100分)
	復習内容:単語の発音、意味、書き方を復習すること、理題のリスニングをトレーニングすること (140分)
是出課題	13.NS4(射 リスニング 会話 リスニング 会話 リスニング 会話 ドラミ (100分 ) 子習内容 : 4版レベルの単語を目習すること、課題を予習し、例文をすべて音読すること (100分 ) 復習内容 : 半脳の発意、運法、書き方を復習すること、課題のリスニングをトレーニングすること (140分 )
毎回、授業中に行ったリスニング問題のトレーニングペーパーの提出を求めます。 次週の授業までにHSKについての課題を完成させ、提出してもらいます。	14.1%(4M)・1リスニッグ 会話 - 1リスニッグ 会社 - 1リスニッグ - 1リスラー - 1リスニッグ - 1リスティース・1リスティッグ - 1リスニッグ - 1リスニッグ - 1リスティース・1リスティ
	独自的は、手助の売品、原外、言じれて終血がらこと、 (株型の) 人 ニノウェドレー ニノウッ むこと (100分)
	復留内容:単誠の発音、意味、書き方を復習すること、課題のリスニングをトレーニングすること (140分)
<b>課題(レポートや小テスト等)に対するフィードバックの方法</b>	
	授業形態 (アクティブ・ラーニング)
毎出したの記載というには、肝肌で11 J た 後、 支続日に日対の41 ホモンがに強めてどより。 日本に、記述者に対しては、肝肌を11-3 に後、支続日に日対の41 ホモンがに強めてどより。	
毎出した戦闘については、情報を行うなど、文権自己に復憲をします。 最後に、受講者に共通する問題点について、重点的に復憲をします。	ア:PBL(課題解決型学習)
温出しい機器とついうは、解説を行うれば、金融目には図り加木とついて知識のことより。 機能に、受講者に共通する問題点について、重点的に複画をします。	ウ:ディスカッション、ディベート O ェ:グループワーク
最後に、受講者に共通する問題をについて、重点的に侵留を包ます。ハイ神命とせるソ。	ウ: ディスカッション、ディベート
最後に、受講者に共通する問題にはついて、重点的に信留を包ます。ハイ神命とせるソ。	ウ:ディスカッション、ディベート     ロ:グルーブワーク       オ:ブレゼンテーション     カ:実習、フィールドワーク
提出した課題については、解談を行った後、受講者に自身の結果について確認させます。 最後に、受講者に共通する問題点について、重点的に復認をします。	ウ:ディスカッション、ディベート     ロ:グルーブワーク       オ:ブレゼンテーション     カ:実習、フィールドワーク
	ウ:ディスカッション、ディベート       〇 エ:グルーブワーク         オ:ブレゼンテーション       カ:実習、フィールドワーク         キ:その他(AL型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合)         卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連
平価の基準	ウ: ディスカッション、ディベート       〇 エ: グルーブワーク         オ: ブレゼンテーション       カ: 実習、フィールドワーク         キ: その他(AL型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合)
平価の基準 本講義の評価基準は毎回の講義の受講態度と提出物、小テスト及び中間テストと期末試験の成績により総合的に評価をすることを基準とします。	ウ:ディスカッション、ディベート       〇 エ:グルーブワーク         オ:ブレゼンテーション       カ:実習、フィールドワーク         キ:その他(AL型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合)         卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連
評価の基準 本講義の評価基準は毎回の講義の受講態度と提出物、小テスト及び中間テストと期末試験の成績により総合的に評価をすることを基準とします。 異体なな影響なの受講態度、課題の提出、小テスト)20% ・中間子人10%	ウ:ディスカッション、ディベート       〇 エ:グルーブワーク         オ:ブレゼンテーション       カ:実習、フィールドワーク         キ:その他(AL型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合)         卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連
平価の基準 本講義の評価基準は毎回の講義の受講態度と提出物、小テスト及び中間テストと期末試験の成績により総合的に評価をすることを基準とします。	ウ:ディスカッション、ディベート       〇 エ:グルーブワーク         オ:ブレゼンテーション       カ:実習、フィールドワーク         キ:その他(AL型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合)         卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連
平価の基準 本講教の評価基準は毎回の講義の受講態度と提出物、小テスト及び中間テストと期末試験の成績により総合的に評価をすることを基準とします。 具体的な耐合: ・平局 (7度単中の受講態度、課題の提出、小テスト) 20% ・中間・アストの3% ・中間・アストの3%	ウ:ディスカッション、ディベート       〇 エ:グルーブワーク         オ:ブレゼンテーション       カ:実習、フィールドワーク         キ:その他(AL型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合)         卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連
平価の基準 本講教の評価基準は毎回の講義の受講態度と提出物、小テスト及び中間テストと期末試験の成績により総合的に評価をすることを基準とします。 具体的な耐合: ・平局 (7度単中の受講態度、課題の提出、小テスト) 20% ・中間・アストの3% ・中間・アストの3%	ウ:ディスカッション、ディベート       〇 エ:グルーブワーク         オ:ブレゼンテーション       カ:実習、フィールドワーク         キ:その他(AL型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合)         卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連
平価の基準 本講教の評価基準は毎回の講義の受講態度と提出物、小テスト及び中間テストと期末試験の成績により総合的に評価をすることを基準とします。 具体的な耐合: ・平局 (7度単中の受講態度、課題の提出、小テスト) 20% ・中間・アストの3% ・中間・アストの3%	ウ:ディスカッション、ディベート       〇 エ:グルーブワーク         オ:ブレゼンテーション       カ:実習、フィールドワーク         キ:その他(AL型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合)         卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連
平価の基準 本講教の評価基準は毎回の講義の受講態度と提出物、小テスト及び中間テストと期末試験の成績により総合的に評価をすることを基準とします。 具体的な耐合: ・平局 (7度単中の受講態度、課題の提出、小テスト) 20% ・中間・アストの3% ・中間・アストの3%	ウ:ディスカッション、ディベート       〇 エ:グルーブワーク         オ:ブレゼンテーション       カ:実習、フィールドワーク         キ:その他(AL型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合)         卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連
平価の基準 本講教の評価基準は毎回の講義の受講態度と提出物、小テスト及び中間テストと期末試験の成績により総合的に評価をすることを基準とします。 具体的な耐合: ・平局 (7度単中の受講態度、課題の提出、小テスト) 20% ・中間・アストの3% ・中間・アストの3%	ウ:ディスカッション、ディベート       〇 エ:グルーブワーク         オ:ブレゼンテーション       カ:実習、フィールドワーク         キ:その他(AL型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合)         卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連
平価の基準 本講教の評価基準は毎回の講義の受講態度と提出物、小テスト及び中間テストと期末試験の成績により総合的に評価をすることを基準とします。 具体的な耐合: ・平局 (7度単中の受講態度、課題の提出、小テスト) 20% ・中間・アストの3% ・中間・アストの3%	ウ:ディスカッション、ディベート       〇 エ:グルーブワーク         オ:ブレゼンテーション       カ:実習、フィールドワーク         キ:その他(AL型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合)         卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連
評価の基準 本講教の評価基準は毎回の講教の受講態度と提出物、小テスト及び中間テストと期末試験の成績により総合的に評価をすることを基準とします。 具体 はなさら、(持筆中の受講態度、課題の提出、小テスト) 20% ・中間テスト30% ・中間テスト30% ・ 対策テスト30% 詳細については初回の講教の際に、教室で説明します。 優修にあたっての注意・助言他	ウ: ディスカッション、ディベート       マ : グルーブワーク         オ: ブレゼンテーション       カ: 実習、フィールドワーク         キ: その他(AL型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合)         卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連         外間諸を用いて「人と門落なコミュニケーションをとることができる」資質・能力を育み、高字部生に求められる「各業界の動向や問題点を理解するための基礎知識」・経済学部生に求められる「人間、社会に関するこれまでの学問的成果の基礎」・人間社会学部生に求められる「日常生活と文化といった現実社会の様々なテーマ」に智能し「コミュニケーション能力」の育成を目指します。         双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述
評価の基準 本講教の評価基準は毎回の講教の受講態度と提出物、小テスト及び中間テストと期末試験の成績により総合的に評価をすることを基準とします。 具体 はなさら、(持筆中の受講態度、課題の提出、小テスト) 20% ・中間テスト30% ・中間テスト30% ・ 対策テスト30% 詳細については初回の講教の際に、教室で説明します。 優修にあたっての注意・助言他	ウ: ディスカッション、ディベート       マ : グルーブワーク         オ: ブレゼンテーション       カ: 実習、フィールドワーク         キ: その他(AL型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合)         卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連         外間諸を用いて「人と門落なコミュニケーションをとることができる」資質・能力を育み、高字部生に求められる「各業界の動向や問題点を理解するための基礎知識」・経済学部生に求められる「人間、社会に関するこれまでの学問的成果の基礎」・人間社会学部生に求められる「日常生活と文化といった現実社会の様々なテーマ」に智能し「コミュニケーション能力」の育成を目指します。         双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述
評価の基準 本講教の評価基準は毎回の講教の受講態度と提出物、小テスト及び中間テストと期末試験の成績により総合的に評価をすることを基準とします。 具体 はなさら、(持筆中の受講態度、課題の提出、小テスト) 20% ・中間テスト30% ・中間テスト30% ・ 対策テスト30% 詳細については初回の講教の際に、教室で説明します。 優修にあたっての注意・助言他	ウ: ディスカッション、ディベート       ○ エ: グループワーク         オ: ブレゼンテーション       カ: 実習、フィールドワーク         キ: その他(AL型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合)         卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連         外国語を用いて「人と円落なコミュニケーションをとることができる」資質・能力を育み、高学部生に求められる「各業界の動向や問題点を理解するための基礎知識」・経済学部生に求められる「人間、社会に関するこれまでの学問的成果の基礎」・人間社会学部生に求められる「日常生活と文化といった現実社会の様々なデーマ」に認熟し「コミュニケーション能力」の育成を目指します。
評価の基準 本講教の評価基準は毎回の講教の受講態度と提出物、小テスト及び中間テストと期末試験の成績により総合的に評価をすることを基準とします。 具体 はなさら、(持筆中の受講態度、課題の提出、小テスト) 20% ・中間テスト30% ・中間テスト30% ・ 対策テスト30% 詳細については初回の講教の際に、教室で説明します。 優修にあたっての注意・助言他	ウ: ディスカッション、ディベート       マ : グルーブワーク         オ: ブレゼンテーション       カ: 実習、フィールドワーク         キ: その他(AL型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合)         卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連         外間諸を用いて「人と門落なコミュニケーションをとることができる」資質・能力を育み、高字部生に求められる「各業界の動向や問題点を理解するための基礎知識」・経済学部生に求められる「人間、社会に関するこれまでの学問的成果の基礎」・人間社会学部生に求められる「日常生活と文化といった現実社会の様々なテーマ」に智能し「コミュニケーション能力」の育成を目指します。         双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述
評価の基準 本講教の評価基準は毎回の講教の受講態度と提出物、小テスト及び中間テストと期末試験の成績により総合的に評価をすることを基準とします。 具体 はなさら、(持筆中の受講態度、課題の提出、小テスト) 20% ・中間テスト30% ・中間テスト30% ・ 対策テスト30% 詳細については初回の講教の際に、教室で説明します。 優修にあたっての注意・助言他	ウ: ディスカッション、ディベート       マ : グルーブワーク         オ: ブレゼンテーション       カ: 実習、フィールドワーク         キ: その他(AL型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合)         卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連         外間諸を用いて「人と門落なコミュニケーションをとることができる」資質・能力を育み、高字部生に求められる「各業界の動向や問題点を理解するための基礎知識」・経済学部生に求められる「人間、社会に関するこれまでの学問的成果の基礎」・人間社会学部生に求められる「日常生活と文化といった現実社会の様々なテーマ」に智能し「コミュニケーション能力」の育成を目指します。         双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述
評価の基準 本講教の評価基準は毎回の講教の受講態度と提出物、小テスト及び中間テストと期末試験の成績により総合的に評価をすることを基準とします。 具体 はなさら、(持筆中の受講態度、課題の提出、小テスト) 20% ・中間テスト30% ・中間テスト30% ・ 対策テスト30% 詳細については初回の講教の際に、教室で説明します。 優修にあたっての注意・助言他	ウ: ディスカッション、ディベート       マ : グルーブワーク         オ: ブレゼンテーション       カ: 実習、フィールドワーク         キ: その他(AL型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合)         卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連         外間諸を用いて「人と門落なコミュニケーションをとることができる」資質・能力を育み、高字部生に求められる「各業界の動向や問題点を理解するための基礎知識」・経済学部生に求められる「人間、社会に関するこれまでの学問的成果の基礎」・人間社会学部生に求められる「日常生活と文化といった現実社会の様々なテーマ」に智能し「コミュニケーション能力」の育成を目指します。         双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述
評価の基準 本講義の評価率は毎回の講義の受講態度と提出物、小テスト及び中間テストと期末試験の成績により総合的に評価をすることを基準とします。 具体的な副合: ・平常点(授業中の受講態度、課題の提出、小テスト)20% ・中間テスト30% ・期末テスト50% 詳細については初回の講義の際に、教室で説明します。	フ: デスカッション、ディベート
評価の基準 本講教の評価基準は毎回の講教の受講態度と提出物、小テスト及び中間テストと期末試験の成績により総合的に評価をすることを基準とします。 具体 はなさら、(持筆中の受講態度、課題の提出、小テスト) 20% ・中間テスト30% ・中間テスト30% ・ 対策テスト30% 詳細については初回の講教の際に、教室で説明します。 優修にあたっての注意・助言他	フ: デスカッション、ディベート
下価の基準 本講像の評価基準は毎回の顕著の受講態度と提出物、小テスト及び中間テストと脚末試験の成績により総合的に評価をすることを基準とします。 ・ 本書、「教養中の受講態度、課題の提出、小テスト) 20% ・ 北京テスト50% 詳細については初回の講義の際に、教室で説明します。  「整修にあたっての注意・助言他 この編纂は年年以上の中国担守習経験を必要とします。 また、受講の病に活を取り始み、授業中の情報の態度は大いに評価します。 また、受講の病に活を取り始み、授業中の情報の態度は大いに評価します。 また、受講の病に活を取り始み、授業中の情報の態度は大いに評価します。 また授業外での予留機器は次がせないため、必ることなく努力しなければいけません。	フ: デスカッション、ディベート
学価の基準 本漢格の評価基準に毎回の講義の受講態度と提出物、小テスト及び中間テストと期末試験の成績により総合的に評価をすることを基準とします。 其格的な影響を中の受講態度、課題の提出、小テスト)20% ・ 中間テスト50% ・ 地ボテスト50%  詳細については初回の講義の際に、教室で説明します。	フ: デスカッション、ディベート
学価の基準 本漢格の評価基準に毎回の講義の受講態度と提出物、小テスト及び中間テストと期末試験の成績により総合的に評価をすることを基準とします。 其格的な影響を中の受講態度、課題の提出、小テスト)20% ・ 中間テスト50% ・ 地ボテスト50%  詳細については初回の講義の際に、教室で説明します。	フ: デスカッション、ディベート
ア催の基準 本講称が発展事は毎回の講義の受講態度と度出物、小テスト及び中間テストと類末試験の成績により総合的に評価をすることを基準とします。 日本の名(伊戴中の受講態度、課題の提出、小テスト)20% ・ 本界テストの物 ・ 本界テストの物 ・ 本界・ 大学 大学 大学 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	の: ディスカッション、ディベート
学価の基準 本講教の学者を「台側の演奏の受講側度と関出物、小テスト及び中間テストと簡末試験の成績により総合的に評価をすることを基準とします。 具体的な影合: ・中間を「16-30% ・	ク: ディスカッション、ディペート
ア催の基準 本講称が発展事は毎回の講義の受講態度と度出物、小テスト及び中間テストと類末試験の成績により総合的に評価をすることを基準とします。 日本の名(伊戴中の受講態度、課題の提出、小テスト)20% ・ 本界テストの物 ・ 本界テストの物 ・ 本界・ 大学 大学 大学 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	の: ディスカッション、ディベート
学価の基準 本講教の学者を「台側の演奏の受講側度と関出物、小テスト及び中間テストと簡末試験の成績により総合的に評価をすることを基準とします。 具体的な影合: ・中間を「16-30% ・	の: ディスカッション、ディベート